



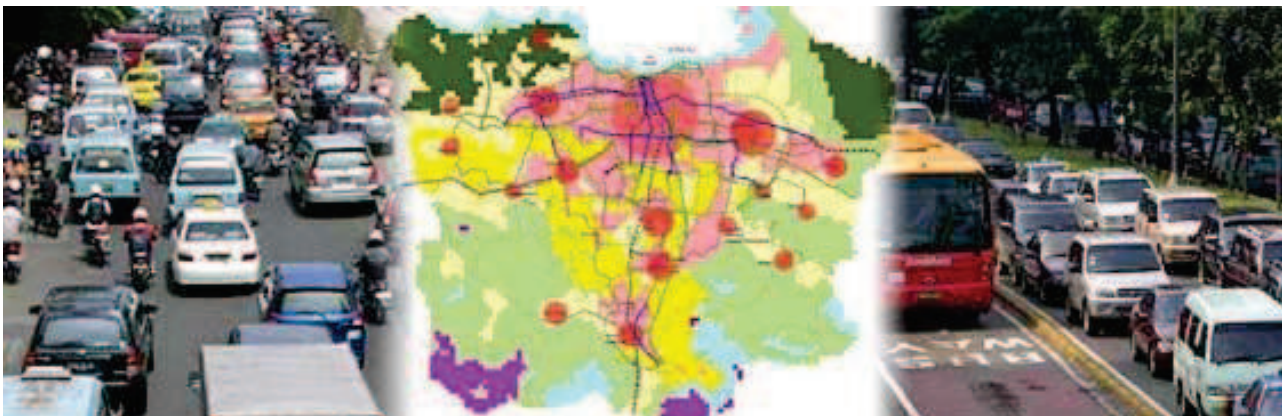
インドネシア「都市機能復移転」研修を受け入れ ～「JICA ジャカルタ首都圏都市交通政策統合プロジェクト2」の進展～

昨年頃からニュース報道等に世界最悪といわれるジャカルタの交通混雑・渋滞とともに都市高速鉄道（地下鉄、一部高架構造）がしばしば登場しています。道路面積率が極端に低いジャカルタでは、鉄道等の大量公共交通機関を改良・整備していくほか道路交通混雑を緩和し、都市機能を維持していく方法はないと考えられてきました。

この度、独立行政法人 国際協力機構 JICA 理事長より神戸市長へ「平成 21 年から 23 年度におきまして貴市より専門家を派遣いただきました『ジャカルタ首都圏都市交通政策統合プロジェクト』の後継プロジェクトである『同フェーズ2』の関係省庁職員を対象とする研修を実施することとなり、現地プロジェクトより貴市の都市開発及び都市交通について学びたいとの要望がありました」と本邦研修の受け入れ要請がありました。

神戸市及び公社は、昨年 2 月にも日尼 TOD 公共交通指向型都市開発・都市交通セミナーへ招待され、ニュータウンと地下鉄、ポートアイランドや神戸空港と新交通システムの一体的整備などまちづくりにおける公共交通の重要な役割について発表しました（http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/business/pdf/150324report26_indonesia.pdf）。また、平成 23 年に JICA プロジェクトから大統領へ提出された「首都圏交通庁の設置にかかる大統領令（案）」が、大統領選挙後の新政権により更新され、昨年 12 月にジャカルタの交通対策に向け、新しい行政機関「首都圏交通庁」が発足しました。この交通庁からも本邦研修に参加されており、旧知の経済調整大臣次官補やジャカルタ州政府副知事等とともに、将来のジャカルタのまちづくりについて、活発な意見交換が行われました。

一方、ジャカルタ州は都市化に伴う水環境汚濁及び污水排水対策に取り組んでおり、神鋼環境ソリューションから污水处理、環境形成用水や中水道等の処理水利活用及びバイオガス化の説明を頂きました。なお、神戸の新交通開発事業者である神戸製鋼所は、ジャカルタの地下鉄システム整備を受注、交通渋滞対策に貢献されています。



参考：『同プロジェクト』の概要：<http://www.jica.go.jp/project/indonesia/004/index.html>

1. 実施期間：平成28年4月14日（月）～20日（火）

2. インドネシア国側参加者：

- ・ 経済調整大臣府インフラ・地域開発担当次官補 Mr. Tulus Hutagalung
- ・ 運輸省 技術開発研究所 長官 Dr. SINAGA Elly Adriani
- ・ 運輸省 技術開発研究所 局長 Mr. IRFANSYAH Sigit
- ・ 運輸省 首都圏交通庁 施設局長 Mr. SALAM Edi Nur
- ・ ジャカルタ特別州 副知事 Dr. SOEHODHO Sutanto
- ・ ジャカルタ特別州 都市インフラ整備公社 総裁 Mr. PRAMADHI Ario
- ・ インドネシア鉄道公社 上級副総裁 Mr. TRIWIBOWO Anggoro （他15名）
- ・ JICA 総合交通政策アドバイザー 秋村成一郎（国土交通省派遣）

3. 研修及び視察内容：

- ・ 広域交通ネットワークとニュータウン開発事業（公共交通指向型都市開発）
- ・ 三宮都心ターミナル整備事業（公共交通指向型）
- ・ 海上文化都市ポートアイランド開発事業（都市交通一体型開発）
神戸新交通総合司令所及びポートライナー試乗
下水道汚水の再生利用及びバイオガス化利用（株）神鋼環境ソリューション）
- ・ 公共交通指向型都市開発におけるパーク＆ライド駐車場整備事業



神戸新交通の総合指令所（運行・電力・安全管理）



左からスタント副知事、シナガ長官、プラマディ総裁



左から2人目、秋村 JICA 専門家（国交省派遣）



国土交通省 清水技術審議官表敬訪問
中央左からトゥルス次官補、清水審議官